

平成30年度事業報告（概要）

平成30年度の日本経済は、輸出はおおむね横ばいとなっているものの、企業収益が過去最高を記録する中で設備投資が増加するとともに、雇用・所得環境の改善により、個人消費の持ち直しが続くなど、緩やかな回復が続いている。

また、自動車販売台数は、前年比0.7%増の527万台と2年連続で増加した。このような状況のなか、当協会の事業計画は概ね予定のとおり実施することができた。

なお、実施した事業のうち主なものは次のとおり。

I. 公益事業等の推進

1. 自動車の安全・安心の確保・事故防止対策等事業

重要な公益目的事業と位置付けている「安全・安心の確保、事故防止対策」等事業について、以下の取組みを行った。

① 安全・安心な車社会の形成

イ 当協会職員を研修派遣している「運輸安全マネジメント支援センター（TSD）」において、前年度に引き続き運輸安全マネジメントの普及促進事業に取り組んだ。

ロ TSDが行う運輸安全マネジメントの認定セミナー（ガイドライン・内部監査・リスク管理）の開催に協賛した。

また、国土交通省近畿運輸局（以下「近畿運輸局」という。）主催の事故防止セミナー、運輸安全マネジメントシンポジウム「安全管理体制



事故防止セミナー



安マネシンポ

の構築・改善に向けた更なる取組」の開催に協力した。

② 運輸行政が実施する事故防止等に係る調査・資料の収集等の周知徹底

国土交通省が行う「適正な自動車登録行政手続等の啓発」活動に積極的に協力するとともに、近畿運輸局が主催する公共交通政策や環境保全、事故防止等に関する調査研究に参画した。

③ 飲酒運転撲滅運動事業

大阪支部等9支部に設置している飲料用自動販売機収入の一部をFM O S A K A S D D事務局を通じて、公益財団法人交通遺児等育成基金に寄付を行った。

④ 交通遺児の救済等への助成事業

次の団体に対し、交通遺児への援護資金として寄付を行った。

◎近畿2府4県の各社会福祉協議会

◎公益財団法人交通遺児等育成基金



寄付金贈呈（交通遺児等育成基金）



感謝状（社会福祉協議会）

⑤ 交通事故防止等

イ 春秋に実施された全国交通安全運動では、新聞紙上等を活用して協賛広告を掲載し、交通安全についての啓発に努めた。

ロ 交通安全祈願を平成30年11月5日に、京都東山「霊山観音」において、交通遺児友の会等関係者の参列を得て執り行い、交通事故の撲滅を祈願した。

2. 自動車登録番号標等の盗難、偽変造防止の取組み

イ 以下の各地域のイベント開催時に、イメージキャラクター「サード君」を活用してナンバープレート・自動車盗難予防意識の向上を図るための広報・啓発を行った。



兵庫カーライフ・フェスタ



◎平成30年11月10日（土）～11日（日）
「兵庫カーライフ・フェスタ2018」
（場所：神戸市メリケンパーク）

ロ グッズの提供及び販売

◎平成30年9月2日（土）

「こどもミュージアムフェスタ2018」

（場所：万博公園 主催：こどもミュージアムプロジェクト事務局）

◎平成30年11月28日（水）

「交通環境教室」（場所：三日市幼稚園 主催：近畿運輸局）

ハ 大阪府自動車等盗難防止対策協議会

◎平成30年10月5日（金）

「自動車盗難防止キャンペーン」 （場所：淀屋橋駅付近）

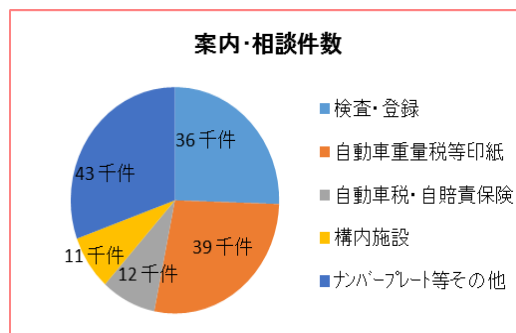
ニ 自動車関係団体専門誌等に宣伝広告を行い、ナンバープレート・自動車等の盗難予防意識の向上に努めた。

3. 案内・相談等事業

「自動車検査・登録手続き案内」や「接遇マニュアル」を各支部の窓口で活用するとともに、ユーザーからの検査登録手続き等の相談について、的確、迅速に案内・相談業務を行い、窓口サービスの向上を図った。

案内・相談件数は全体で
約141千件あり、その
内訳については

- ①検査・登録関係 約36千件
- ②自動車重量税等印紙関係 約39千件
- ③自動車税・自動車損害賠償保険関係 約12千件
- ④構内施設関係 約11千件
- ⑤ナンバープレート等その他 約43千件



4. 自動車登録番号標交付代行事業等

① 自動車登録番号標交付代行事業

近畿運輸局、一般社団法人全国自動車標板協議会（以下「全標協」という。）の指導のもと次の取組みを行った。

イ 標板製作者の指導監督を強化するとともに、品質の管理及び向上を図った。

ロ ラグビーワールドカップ特別仕様ナンバープレート及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会特別仕様ナンバープレート（以下「特別仕様ナンバープレート」という。）の円滑な交付業務の

遂行に努めた。 オリ・パラ特別仕様ナンバープレート



併せて、特別仕様ナンバープレートの供給体制の確立に向けて標板製作者の指導監督を行った。

ラグビー特別仕様ナンバープレート

② 自動車登録番号標の甲種封印受託事業

甲種封印受託者として業務に携わる職員及び甲種分室責任者に対し、封印の保管、法令順守について指導を行い、適正な業務運営に努めた。

5. 環境対策事業等

① 低公害車の普及促進

大阪支部駐車場内に設置した電気自動車急速充電器については、引き続き実証実験を行った。

今年度も利用回数は増加傾向が続いており、年間1110回（前年度比118%）の利用があった。



EV急速充電器

② 近畿運輸局が行う交通関係環境保全優良事業者等表彰式に協力し、記念講演を実施した。

6. 自動車検査登録印紙等の売り捌き事業等

自動車検査登録印紙、自動車重量税印紙売り捌き及び自動車審査証紙販売並びに自動車損害賠償保障法による業務等の取扱については、窓口の改善を図る等円滑な供給、適切な対応に努めた。

7. 自動車保有関係手続のワンストップサービス化（OSS）への対応

一昨年から開始された全国展開、対象手続きの拡大への対応については、国土交通省及び関係機関等と情報交換等を行い、適宜適切に対処した。

8. 地方自治体からの受託事業

京都府の自動車税関係等受託業務について、正確、円滑な業務遂行に努めた。

9. その他

① OB支援事業

近畿陸運OB会と連携して、近畿運輸局OB関係者に対する福祉、厚生事業について支援に努めた。

② CSコンサルティング事業

店舗調査事業は前年度同様順調に調査依頼が続き、安定した事業推進へ向け積極的に取り組んだ。

③ 合同慰霊祭

運輸関係業務に従事して物故された方々の御霊をお慰めするため、合同慰霊祭を平成30年11月5日に京都東山霊山観音において執り行った。



合同慰霊祭（霊山観音）